

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月15日更新

事務事業名		消防連絡協議会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	齋藤 和広	
	施策	15	防災対策の推進				所属課	交通防災課	担当者名	毛利 一生	
	施策の柱	48	災害予防対策				所属班	交通防災班	(内線)	1243	
予算科目		会計一般	款 9	項 1	目 2	事業連番 10012	根拠法令				
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 16 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・平成16年度に消防組合と菊池広域の消防署が合併し、菊池広域連合消防組合が発足したのに併せ組織され、4市町（菊池市・合志市・菊陽町・大津町）で構成している。構成市町の消防団長、副団長、消防主任及び消防本部幹部職員で組織され、各市町間の連絡調整及び研修等を行う。
【業務の流れ】	・協議会への参加 研修会への参加 団長、副団長への連絡、調整
【主な予算費目】	・旅費（費用弁償、普通旅費）
【意見や要望】	・特に聞いていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・本協議会及び研修会へ参加し、管内2市2町消防団の連絡・協力体制の確認と強化を図った。		・協議会、研修会への参加	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 協議会開催回数	回		
⇒ イ: 研修会開催回数	回		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・消防団幹部(団長及び副団長)	人	⇒ ア: 消防団幹部(団長及び副団長)	人
		⇒ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
・協議会に参加することによって、他市町との交流(情報交換等)を深める	%	⇒ ア: 他市町との交流ができたと思う幹部の割合	%
		⇒ イ:	
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・協議会に参加することによって、他市町との交流(情報交換等)を深めることができるため。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア	回	3	3	3	3	3	3	3	3
	イ	回	3	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア	人	5	5	5	5	5	5	5	5
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件 費	一般財源	千円	191	178	214	140	214	383	383
		(A) 事業費計	千円	191	178	214	140	214	383	383
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	0	1	3	3	3
人件 費	延べ業務時間	時間	50	50	0	50	50	50	50	50
		(B) 人件費計	千円	197	197	0	198	199	199	199
	トータルコスト(A)+(B)		千円	388	375	214	338	413	582	582

事務事業名	消防連絡協議会参画事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・協議会に参画することで、他市町、消防本部との交流ができ情報を共有化を図る見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・この協議会に参画することで他市町との交流・意見交換など十分にできており、現状を維持していくものである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・協議会、研修会への旅費のみの予算であり、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・協議会、研修会への参加とその調整に関する事務のみで、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・対象は、消防団団長、副団長であるが、団長、副団長が得た知識、情報等は全消防団員に周知し、情報の共有化を図り、地域の防災活動に役立てるので公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・常備消防と非常備消防との連携を図るものであり適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

・協議会への参加（3回開催、参加）、研修会への参加（3回開催、参加）を行い、他市町の活動についてもこの研修で把握することができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												